



NEWSLETTER

秋田大学附属図書館

本館 <http://www.lib.akita-u.ac.jp/>

医学部分館 <http://libra.med.akita-u.ac.jp/>

No. 18 May 28 2008

1. “JDREAM II” (ジェイドリーム 2) トライアル中です。(7/31 まで)

- ・ JST (科学技術振興機構) が作成する日本最大級のデータベースです。
- ・ 国内外の 4700 万件以上の科学技術、医学・薬学関係の文献情報が入手できます。
- ・ 論文等の書誌情報のほか概要 (抄録) やキーワード (シソーラス) が付記されています。
- ・ 外国語文献は日本語キーワードでも検索ができ、結果には日本語抄録がつきます。
- ・ 本学で利用できる論文フルテキストへのリンクもあります。
- ・ [学術論文]と[特許技術情報]を同時に検索できる **JSTPatM** が利用できます。
⇒ 図書館本館 HP (トップあるいはデータベース案内ページ) から利用できます。

2. 電子ジャーナル”BioOne” トライアル中です。(10/31 まで)

- ・ 生物学・生態学・環境科学・生物化学関連、約 150 誌のフルテキストが利用できます。
- ・ インパクトファクターのランク付けがされており、創刊号から利用できます。
- ・ 日本を含む世界からの投稿論文が収録されています。
⇒ <http://www.bioone.org/>

3. Blackwell 社電子ジャーナルのバックファイルが利用できます。

- ・ Acta Crystallographica Sect.A, Sect.B 1968-1996
- ・ Brit. J. Educational Technology 1970-1996
- ・ Int J. Applied Linguistics 1991-1996
- ・ J. Child and Adolescent Psychiatric Nursing 1988-1996
⇒ 電子ジャーナル統合リスト 或いは OPAC 検索で

4. OUP(Oxford University Press)の電子ジャーナルは”NII-REO” でバックファイルが利用できます。

- ・ NII-REO では各タイトルが創刊号から 2004 年ころまでのバックファイルが利用できます。
- ・ HighWire Press の電子ジャーナルには OUP タイトルも含まれています。
- ・ NII-REO のカバー年以降の刊行分は OUP、HighWire で利用できます。
- ・ それぞれを利用しますと、創刊号から現時点までの刊行分が利用できます。
⇒ NII-REO : <http://reo.nii.ac.jp/>
HighWire Press : <http://highwire.stanford.edu/>
OUP : <http://www.oxfordjournals.org/>

※2-4 は電子ジャーナル総合案内ページ (<http://www.lib.akita-u.ac.jp/ej/e-jrnl.htm>) から利用できます。
(裏へ続く)

5. “データベース&電子ジャーナルの利用”について

先日、学内でデータベースの**不適切な利用**があり、提供元から秋田大学内において**数日間の利用停止**という厳しい措置がとられ、利用者の皆様にはたいへんご迷惑をおかけいたしました。

データベースや電子ジャーナルでは、**契約に基づいた、かつ著作権法を遵守した利用**が求められます。必要なデータを容易に検索でき、パソコンで本文が読め、さらにリンク機能等の優れた機能を備えるデータベースや電子ジャーナルは、たいへん便利なツールです。

しかし、その使い方を誤ると、契約違反、著作権の侵害という事態を引き起こしかねません。提供元では、**アクセスログを管理し、不正な利用を監視**しています。

利用に当っては、下記にご留意の上、適切な利用を心がけてください。

- ・特定の電子ジャーナルを大量ダウンロードしない。
- ・プログラムを利用したシステムティックなダウンロードをしない。
- ・利用は個人の学術研究、教育目的での利用に限ります。
- ・印刷またはダウンロードした論文を複製や再配布しない。

6. “機関(学術情報)リポジトリ”について

※機関リポジトリ：大学等の学術機関の生成する研究・教育成果を電子的に集積・保存・公開・利用するためのシステム（電子書庫）

⇒学術情報の共有・流通・成果還元等で大学構成員へのサービスや地域、社会への貢献を図ります。

[現在]

- ・秋田大学学術情報リポジトリ（AIR）で、文献等の登録件数が**600件**を超えました。
- ・全国の大学等でも登録が進んでいます。（現在、約80機関で31万件）
- ・検索、利用は
 1. 個別の大学リポジトリサイト
 2. JuNii+（国内のリポジトリ統合検索サイト）
 3. Google Scholar から行えます。

[今後について]

- ・学内刊行物（紀要類、学会関係誌、各種報告書、学位論文、講演、シンポジウム関係資料など）のリポジトリ登録制度化にご協力お願いいたします。
⇒編集委員会等で、投稿規程の改定や文書で、リポジトリへの登録を著作権者に周知し、一括著作権処理を行っていただき、**冊子版刊行時にPDF版も作成し、図書館へ送付**いただくことにより、登録処理が迅速に行えます。
- ・一般学術雑誌掲載論文については、教員の皆様に個別に提供（登録）をお願いいたします。
⇒詳しくはAIRのページをご覧ください。（<http://air.lib.akita-u.ac.jp/dspace/>）

7. シラバスコーナー、秋田県コーナーを移動しました。（本館）

・5月23日、シラバスコーナーを1Fホールから2F蔵書検索コーナー後に移動しました。また、1Fブラウジングコーナーの秋田県コーナーを旧シラバスコーナー書架に移動しました。⇒図書館HPの館内図等を参照ください。

⇒図書館 Newsletter はPDF版が図書館HPからご覧いただけます。

<http://www.lib.akita-u.ac.jp/dayori.htm>